

**令和4年度幕別町地球温暖化対策推進委員会
第4回審議会 議事録**

【開催日時, 場所, 出席者】

日 時	2023年02月17日(金) 14:00~16:00					会 場	幕別町会議室 3A~3C	
委員長	梅津 一孝	○	委 員	佐藤 博志	○	事務局	佐々木 英行	○
委 員	岡坂 和春	×	委 員	長谷 陽子	×	事務局	千田 祐輔	○
委 員	太刀野 真	○	委 員	宇佐美 純一	○	事務局	古市 智也	○
委 員	林 勝也	○	委 員	楠 美智子	○	委託会社	西田 功児	○
委 員	伊藤 光一	×	委 員	西山 修一	○	委託会社	和田 昌大	○
委 員	佐藤 一哉	○	委 員	山崎 和夫	○	委託会社	桑野 一彦	○
委 員	刈谷 繁美	○	事務局	寺田 治	○	委託会社	長谷川 啓一	○
委 員	渡會 崇善	○	事務局	山岸 伸雄	○	委託会社	小瀬澤 美希	○
委 員	神山 央	○	事務局	井上 一成	○	委託会社	大橋 正知	○

○：出席，×：欠席

【配付資料】

資料①：アンケートおよびヒアリング調査結果

資料②：温室効果ガス(CO₂)削減目標および再エネ導入目標

資料③：幕別町の将来ビジョンとロードマップ

【議事内容】

1 開会

2 委員長挨拶

3 議案1 アンケートおよびヒアリング調査結果報告

町民および事業所に対して実施した脱炭素・再導入に関するアンケートの集計結果および事業所ヒアリング調査結果を報告した。

<本議案に対する質問>

① 梅津委員長

➤ アンケートの対象数、回答者数および回答率はどのくらいですか？

◇ 町民アンケートは1200人を対象として回答者343人(回答率28.6%)

◇ 事業所アンケートは300事業所を対象として回答者82人(回答率27.3%)

➤ 若い世代の対象年齢は何歳ですか？

◇ 19~39歳を想定

◇ 世代別の回答率は、18~29歳：9%、30~39歳：13%、40~49歳：25%、50~59歳：28%、60~69歳：7%、70以上：18%であった。

4 議案2 温室効果ガス（CO2）削減目標および再エネ導入目標についての報告

温室効果ガスの削減目標および再エネ導入目標について説明を行った。事務局としての削減目標は、政府目標をクリアするシナリオ（シナリオ②）で「2030年度に2013年比でCO2排出量を46%減、2050年度にカーボンニュートラルを達成」と報告した。

<本議案に対する質問>

① 西山委員

- ▶ 削減目標を達成するための費用や補助支援などの検討はしていますか？
 - ◇ 事業費は算出していない。推進施策（補助・支援）は資料③の将来ビジョンで説明する。
 - ◇ 達成するためには予算の確保が重要である。国における地域脱炭素再エネ事業に関する交付金を活用して事業に取り組むことを考えている。

② 梅津委員長

- ▶ 先進地に採択されると50億円の補助が受けられる可能性がある。

5 議案3 幕別町の将来ビジョンとロードマップについての報告

将来ビジョンの作成について、その目的やコンセプト、施策案を説明した。また、施策を実現するためのロードマップについても説明を行った。

<本議案に対する意見>

① 宇佐美委員

- ▶ 施策は良くまとまっている。認証制度の活用は農家にもメリットがあると思う。
- ▶ 農作物の安全・安心が付加価値としてブランド化に繋がれば良い。幕別町のPRとなり、他自治体との差別化にも良いと思う。

② 太刀野委員

- ▶ 酪農が窮地に立っている。
- ▶ 家畜糞尿がなくなるとバイオガスが頓挫する。
 - ◇ 現状の酪農家の課題解決に繋がる事業展開を図り、関係者への理解促進、合意形成が必要と思われる。行政主導で実施するつもりである。

③ 山崎委員

- ▶ ZEB/ZEHは蓄電するのか、売電するのか？
 - ◇ 防災力向上を図りたい。基本は自家消費、余剰は売電もしくは蓄電と考えている。
- ▶ 森林面積は維持とあるが、増加しないのか？
 - ◇ 幕別町は森林面積が少なく、農地の拡大志向もあり、増やすのは難しい。
 - ◇ CO2排出量を抑制するためには、現存する森林の整備を行う必要がある。そのためには林業従事者も増やさないといけない。

6 閉会

梅津委員長から以下のご意見をいただき、閉会となった。

- ・ 将来ビジョン、施策、ロードマップができた。
- ・ 行政が中心となり、地域住民、事業者と綿密に協議連携しながら進める必要がある。
- ・ 将来を見据えたまちづくりとして、今後具体的な内容も検討していく必要がある。

以上